



■ 計画の概要

《計画区域》

本市全域

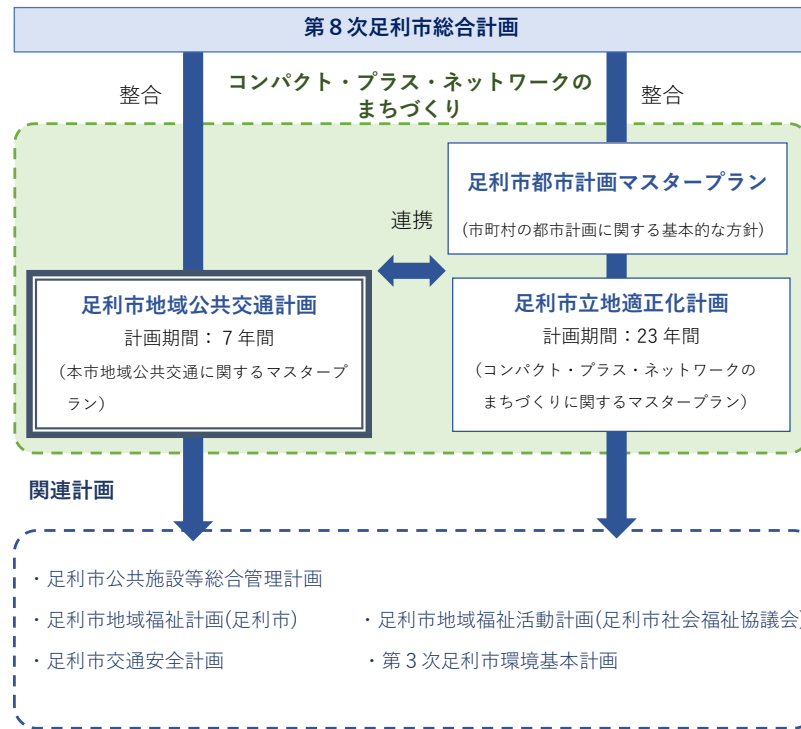


《計画期間》

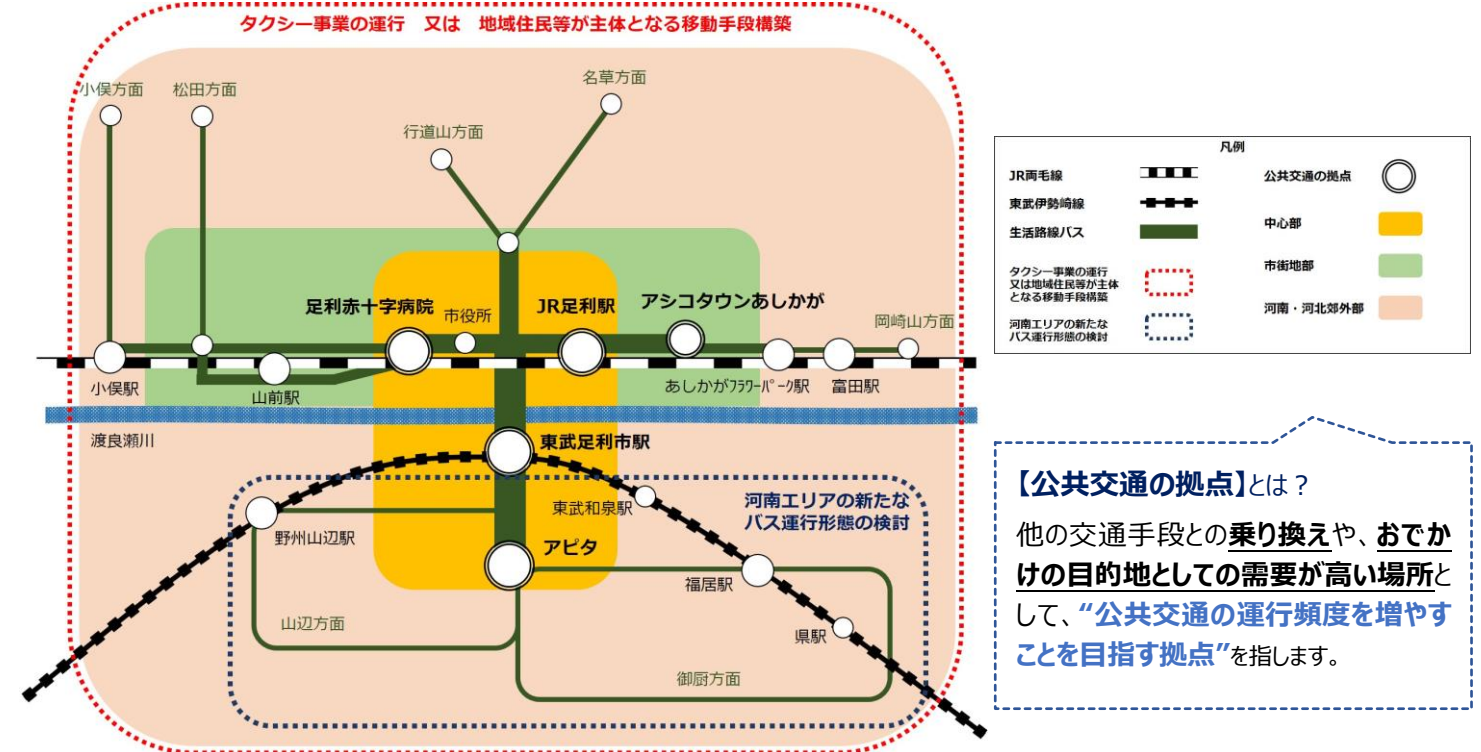
令和5年度から令和11年度までの7年間

《計画の位置づけ》

第8次足利市総合計画を上位計画として、足利市都市計画マスタープランや足利市立地適正化計画と連携しながら計画を推進します。また、関連計画との整合性にも留意します。



■ 公共交通拠点の設定と目指すべき公共交通ネットワークのイメージ図



■ 地域公共交通の基本方針、計画期間における目標

《基本方針》

「安心な暮らしを支える公共交通ネットワークの構築」

《目標》

【目標①】 まちづくりと整合した地域公共交通ネットワークの構築

【目標②】 生活路線バスの品質保証・性能保証の確保と新たな利用の開拓

【目標③】 公共交通を持続可能にするための取組

【目標④】 現状の公共交通で対応できない地域への新たな取組



【品質保証】とは？

“一定以上の頻度で利用出来る公共交通サービスの提供”を指します。

具体的には…
中心部では30分間隔、市街地部では1時間間隔でバスが運行することを目指します。

【性能保証】とは？

“生活に欠かせない活動を支える公共交通サービスの維持”を指します。

具体的には…
河北・河南郊外部において、「通院」「買物」「通学・通勤」に使える公共交通サービスを提供します。

■ 目標達成のための取組

計画目標

【目標①】 まちづくりと整合した地域公共交通ネットワークの構築

【目標②】 生活路線バスの品質保証・性能保証の確保と新たな利用の開拓

【目標③】 公共交通を持続可能にするための取組

【目標④】 現状の公共交通で対応できない地域への新たな取組

取組

- 取組① 駅機能の整備
- 取組② 新たなモビリティサービスの検討
- 取組③ 生活路線バスサービスの維持・向上
- 取組④ 中橋架替工事中の生活路線バスのサービス水準維持
- 取組⑤ 公共交通を利用してもらうための取組
- 取組⑥ 持続可能な公共交通への取組
- 取組⑦ 様々な交通資源の研究
- 取組⑧ 地域住民等が主体となる移動手段構築

■ 取組内容の詳細・実施主体・実施スケジュール

取組内容	取組詳細	実施主体	実施スケジュール（年度）							
			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	
取組① 駅機能の整備	(1) JR 足利駅周辺の整備 (2) 東武足利市駅周辺の整備 (3) 県駅周辺の整備 (4) あしががフラワーパーク駅周辺の機能整備と中心市街地との連携 (5) 鉄道駅の新設等の検討	・足利市 ・交通事業者								
取組② 新たなモビリティサービスの検討	(1) 立地適正化計画における拠点内及び拠点間の公共交通の充実 (2) MaaSの検討 (3) 自動運転技術の検討	・足利市 ・交通事業者 ・民間事業者								
取組③ 生活路線バスサービスの維持・向上	(1) 学生を対象としたバスを利用してもらうための取組 (2) デジタル技術を活用したバス利便性向上の検討 (3) 待ち時間が少なく、わかりやすいダイヤの検討 (4) 使って心地よいバス環境への改善 (5) 需要に応じたバス路線の見直し・改善 (6) 新たなバス運行形態の検討	・足利市 ・交通事業者								
取組④ 中橋架替工事中の生活路線バスのサービス水準維持	(1) 交通渋滞の影響による運行効率の低下への対応 (2) 通勤・通学者等の駅へのアクセスの維持 (3) 商業施設、医療機関等へのアクセスの維持	・足利市 ・交通事業者								
取組⑤ 公共交通を利用してもらうための取組	(1) 鉄道の利用促進及び鉄道事業者との連携 (2) 多様な関係団体との連携によるバスの乗り方教室等の開催 (3) モビリティマネジメントの取り組み	・足利市								
取組⑥ 持続可能な公共交通への取組	(1) 補助金等の積極的な活用 (2) 新たな財源確保の取組 (3) 運賃制度の見直し (4) 近隣市との連携 (5) 公共施設再編と連動した地域の輸送の効率化の取組 (6) 環境負荷への配慮	・足利市								
取組⑦ 様々な交通資源の研究	(1) 福祉施設等が保有する車両、カーシェアリング用車両、スクールバスなど様々な交通資源の研究 (2) 無人自動運転移動サービス導入検証事業(栃木県ABCプロジェクト)実験結果を踏まえた研究	・足利市								
取組⑧ 地域住民等が主体となる移動手段構築	(1) 移動支援に取り組む団体の支援の検討 (2) タクシー事業の有効活用の検討 (3) 地域住民等主体による移動手段の構築	・市民 ・社会福祉協議会 ・交通事業者 ・民間事業者 ・関係団体等 ・足利市								

→ 機会を捉え随時実施するもの - - - 検討・協議のうえ実施するもの

■ 計画の進捗管理

《評価指標の設定》

評価指標	内容	現状値	R11年度目標値	関連目標・取組
鉄道の利用者	一日あたり駅利用者数	JR 足利駅 2,615 人 東武鉄道5駅 6,334 人 (R3年度)	JR 足利駅 3,200 人 東武鉄道5駅 9,300 人	【目標①】 取組① 取組②
生活路線バスの利用者	生活路線バス利用者総数	14 万人 (R3年度)	19 万 3 千人	【目標②】 取組③ 取組④
学生の利用状況	学生定期券の発行状況	30 人 421,500 円 78 枚 (R3年度)	70 人 1,000,000 円 180 枚	
デジタル技術等の導入件数	バスロケーションシステム等の導入件数	0 件 (R5年度)	2 件	
利用促進策の実施件数	モビリティマネジメント・利用促進パンフレットの作成などの実施件数	1 件 (R5年度)	7 件	【目標③】 取組⑤
公的資金が導入されている公共交通事業の収支	収支率	17% (R3年度)	26%	【目標③】 取組⑥
地域住民等が主体となる移動手段の運営団体数	地域共助型生活交通又はボランティア運送の運営団体数	0 団体 (R5年度)	2 団体	【目標④】 取組⑦ 取組⑧
公共交通への市民満足度	公共交通全体に対する市民満足度	11% (R4年度)	20%	全ての目標・取組

《事業の推進体制》

・「足利市地域公共交通会議」「足利市公共交通事業者ミーティング」「足利市地域公共交通計画庁内検討会議」といった枠組みを活用し、関係者間と調整を図りつつ事業を進めます。

《PDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルの進め方》

・事業の評価、確認については「足利市地域公共交通会議」において実施します。

実施事項	実施年度	N 年度		N+1 年度		N+2 年度
		上半期	下半期	上半期	下半期	上半期
事業の計画検討	次年度事業検討	→		→		→
事業の実施	随時事業の実施	→		→		→
事業の評価				● 評価・確認		● 評価・確認
改善策の検討				● 改善策検討		● 改善策検討